

令和4年度 鶴崎地区自治会連合会 要望項目一覧（市長）

項目番号	タイトル	担当課	
1	鶴崎駅の無人化反対について（※）	都市交通対策課	鶴崎全体 継続
2	鶴崎駅周辺整備に伴う駅施設の整備について（※）	都市計画課	鶴崎全体 新規
3	JR日豊本線寺司踏切の立体交差化について（※）	都市計画課	鶴崎全体 新規
4	浸水対策について	河川・みなと振興課	鶴崎全体 継続
5	主要地方道大分臼杵線の改良及び周辺道路網の整備について（※）	都市計画課	鶴崎全体 新規
6	大分自動車道松岡PAのスマートIC化と取り付け道路の整備について（※）	都市計画課	松岡・明治 新規
7	県道鶴崎大南線の4車線化の促進について（※）	都市計画課	松岡 継続
8	宮谷川の改修工事の早期完成、大谷川の雨水排水ポンプ場の設置について（※）	河川・みなと振興課	川添 継続

（※） は市及び県に要望

校区名	鶴崎全体	新規・ 継続	担当課	都市交通対策課
件名	鶴崎駅の無人化反対について(※)			
内容	<p>一日の平均利用者が3,000人を超え、特急の停車駅でもある鶴崎駅を無人化することは、駅利用者への影響が大きい。</p> <p>また、鶴崎地区として、地域の再生・活性化に向け、鶴崎駅前広場の再整備を市に要望している中において、駅の無人化は容認できるものではない。</p> <p>引き続き、JR九州及び関係機関に対して撤回するようこれまで以上に強く要望していただきたい。</p> <div data-bbox="277 869 1342 1906" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【R4回答】</p> <p>本市ではスマートサポートステーションの導入に関し、これまでもJR九州に対して、市民や利用者には不安を与えないよう慎重な検討と丁寧な説明を求めてまいりましたが、平成30年3月17日に牧駅・幸崎駅・滝尾駅の3駅、同年12月1日に大分大学前駅・敷戸駅の2駅においてスマートサポートステーションが導入されました。</p> <p>JR九州は、今後についても、利用状況等を勘案し引き続きスマートサポートステーション導入の検討を行うと発表しています。</p> <p>本市では、JR九州に対して、スマートサポートステーションの導入の検討にあたっては、これまでと同様に、市民や利用者には不安を与えないよう、利用状況や安全性・利便性等に関する十分な調査と検証を踏まえ、慎重な検討と丁寧な説明を行うよう求めてまいります。</p> <p>令和4年8月には、例年実施している「大分市とJR九州大分支社との勉強会」において、改めて要望をJR九州に伝えております。また、九州・沖縄各県知事らで構成する「九州地域鉄道整備促進協議会」を通じた要望活動を毎年行っており、令和4年10月に要望を大分県に提出しました。今年度中に県を通じてJR九州に提出される予定です。</p> </div>			

校区名	鶴崎全体	新規・継続	種別	都市計画課
-----	------	-------	----	-------

件名 鶴崎駅周辺整備に伴う駅施設の整備について(※)

内容

現在、鶴崎駅周辺整備事業基本構想が策定され、鶴崎駅周辺の整備が進められている。

今後は、この鶴崎駅周辺整備事業に合わせ、鶴崎駅舎や駐輪場等の整備について、JR九州及び関係機関に働きかけていただきたい。

特に、南北の連絡通路の整備については、JR九州との相互協力により整備を進めていただきたい。

【R4回答】

鶴崎地域まちづくりビジョンでは、「鶴崎駅や鶴崎市民行政センター周辺を核とした街のにぎわいづくり」を提言されている。

鶴崎駅周辺は拠点の一つであり、駅周辺の整備は鶴崎地区にとっても重要なことだと認識している。

鶴崎駅周辺整備基本構想の策定について、地元説明会やパブリックコメントを実施する予定であり、今年度中の策定を目指している。

ご要望の鶴崎駅の駅舎や駐輪場、南北の連絡通路に関しては、鶴崎駅北側の民有地やJR九州などの所有地も関連することから、関係者の意見も伺いながら進めていきたい。

校区名	鶴崎全体	新規・継続	種別	都市計画課
-----	------	-------	----	-------

件名 JR日豊本線寺司踏切の立体交差化について(※)

内容

国道197号線と県道22号線とをつなぐ市道鶴崎・三佐線上に位置する寺司踏切は、東部地区の発展とともに朝晩のラッシュ時はもとより、恒常的な渋滞が発生している。

また、緊急車両も頻繁に通行することから、日常生活や経済活動だけでなく、寺司踏切の渋滞は人命にかかわる問題となっている。

市は、H16年、H20年の市議会一般質問、「寺司踏切の渋滞解消の方策、工法の検討及び踏切の遮断時間短縮」に対し、費用対効果及び法律等の観点から実現化は困難であると答弁されている。

しかし、当時の市の見解から20年近くが経過し、技術も格段に進歩している。全国の事例や手法を調査・研究し、寺司踏切による渋滞の解消に向け県と連携を図り、JR九州に対し、立体交差化を強く要望していただきたい。あわせて市の事業である周辺道路整備等をお願いしたい。

【R4回答】

市道鶴崎・三佐線は、市内外から立地している企業へ通勤者や輸送車など多くの車両が通る道路と認識している。

当該踏切の周辺には、大分東警察署が移転し、緊急車両も含め、円滑な交通が課題であると考えている。

本市としても、こうした周辺施設の立地状況や、交通の状況などを整理し、将来的な形態について検討してまいります。

校区名	鶴崎全体	新規・ 継続	担当課	河川・みなと振興課
-----	------	---------------	-----	-----------

件名	浸水対策について
----	----------

内容

鶴崎地区は、平成29年の台風18号の際には、乙津川の水位が氾濫危険水位に達したため、排水対策のポンプが運転制限され、住居等に浸水被害が発生した。

その後、国においては、河川の許容量の拡大を図り大野川及び乙津川の水位を下げるため、大野川の舟本大橋上下流の河道掘削及び樹木伐採、乙津川の別保橋下流の河道掘削を行った。

昨年度は、大野川の宮河内地区の河道掘削や樹木伐採、松岡地区の河道掘削、大津留地区の堤防補強、乙津川の皆春地区と南地区の河道掘削を行うと聞いているが、今後状況把握を的確にしながらか河川の河道掘削及び樹木伐採を行うよう国に対して、強く要望していただきたい。

【R4回答】

国においては、平成29年の台風18号による洪水被害を受け、平成30年度から「河川水害対策緊急事業推進費」及び「防災・減災、国土強靱化のための3か年対策」による洪水時の河川水位を下げるための河道掘削及び樹木の伐採を行っている。令和3年度には大野川の種具地区の樹木伐採、宮河内地区の河道掘削・樹木伐採、松岡地区と中戸次地区の河道掘削を実施し、乙津川の皆春地区と南地区において河道掘削を実施した。令和4年度は、「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」により、大野川の宮河内地区の河道掘削、乙津川の毛井地区の河道掘削を予定しており、今後も、大野川河川整備計画に基づいて、適切な河道の維持管理を行い、流下能力の確保に努めていくとのことです。

本市としましても、引き続き国に対し、地元からの要望を踏まえ、大野川・乙津川の継続的な河道掘削及び樹木伐採について強く要望してまいります。

校区名	鶴崎全体	新規・継続	種別	都市計画課
件名	主要地方道大分臼杵線の改良及び周辺道路網の整備について(※)			
内容	<p>主要地方道大分臼杵線、都市計画道路庄の原佐野線に関して、宗麟大橋から明野南交差点までの計画は示されているが、それ以东の道路整備計画が整っていない。</p> <p>明野南交差点から明野東交差点は上り2車線下り1車線となっており、明野東交差点から金の手交差点、さらに川添橋までの間は、上下1車線となっていることから、交通渋滞が日中において慢性化している。</p> <p>特に猪野交差点においては、交差点内の路面表示変更が検討されているとのことだが、明野東交差点から金の手交差点間の渋滞解消のため、植樹帯を撤去するなどの手法により、まず上り2車線化を実現し、早期に4車線化(上下2車線)を行うよう要望する。併せて猪野交差点に接続する市道の改良も要望いたします。</p> <p>さらには、猪野交差点及び金の手交差点では、朝夕の渋滞が日常化しているだけでなく、災害時は、渋滞により避難が困難になるほど影響が大きく、その影響は川添橋までに及んでいる。現状を解消するためにも、高田橋の架け替えや4車線化(上下2車線)を行うなど、鶴崎地区などの大分市東部方面の住民等が直面している災害時の避難路をはじめ、通勤・通学の際に支障がないよう、明野南交差点から川添橋間の道路拡幅計画を、早急に立案するよう県へ要望していただきたい。</p> <div data-bbox="268 1317 1329 1968" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【R4回答】</p> <p>県では、庄の原佐野線の下郡工区の事業推進及び下郡・明野工区の新規事業化に向けた取り組みを行っており、それより東側の計画は、「下郡・明野工区から先も課題はあるが、工事の進捗を早めるため、まずは下郡工区、それから下郡・明野工区と、段階的な整備を行う」と聞いている。</p> <p>また、明野南から明野東間の渋滞緩和について、「明野東交差点について、庄の原佐野線全体の工事進捗を踏まえた上で、全体で対策を行ったほうが良いのか、交差点改良を先行して行ったほうがよいのか、地域の方の声を聞きながら考えていきたい」と聞いている。</p> <p>本市としては、猪野交差点に接続する市道の改良計画はないが、周辺道路の渋滞緩和対策として、どこで渋滞が発生しているのか見極めるためにしっかりと調査して取り組んでいきたい。</p> </div>			

校区名	松岡・明治校区	新規・継続	種別	都市計画課
-----	---------	-------	----	-------

件名	大分自動車道松岡PAのスマートIC化と取り付け道路の整備について
----	----------------------------------

内容

昨年度は、大分市において取り付け道路の概略検討が実施されている。スマートIC化により、周辺道路の交通量が増加し、ドーム周辺や松岡校区内で新たな交通渋滞が発生する恐れがある。

松岡PAのスマートIC化の整備について、国、NEXCOに要望するとともに、取り付け道路、周辺道路の整備について、特に予算等で国と連携しながら、早く実現していただくよう強く要望する。

なお、整備の際は、周辺生活道路への交通渋滞防止を十分考慮していただきたい。

【R4回答】

SIC化の実現には、交通量の推計や、整備効果、周辺道路への影響などの調査を行ったうえで、国、県、NEXCOとの様々な協議を重ねていく必要があります。大分松岡PAのSIC化に関して、令和3年度に取付道路の概略検討を行いました。SIC化がされれば、周辺の大分スポーツ公園への利便性が増すなど、様々な効果が期待されるため、実現に向けて関係機関との協議や検討を行っていきたい。

校区名	松岡校区	新規・ 継続	担当課	都市計画課
-----	------	---------------	-----	-------

件名 県道鶴崎大南線の4車線化の促進について(※)

内容

今年4月、署名を添えて、松岡校区の要望書を提出した。4車線化は、沿線の交通渋滞の解消のみならず、松岡校区の安全・安心のまちづくりに欠くことが出来ない。
 県道鶴崎大南線の毛井工区の早期完成と、松岡小学校から京が丘入口交差点間の4車線化を県に強く要望していただきたい。

【R4回答】

県道鶴崎大南線の整備については、県道であることから大分県において事業を進めております。

毛井工区につきましては、「用地取得が完了し、今年度工事を発注する計画となっている。引き続き早期完成に向けて取り組んで行く」と聞いている。

また、松岡小学校～京が丘団地入り口交差点については、「事業化に向けて今年度都市計画変更の手続きを目指していく」とのことです。

本市といたしましても、県道鶴崎大南線の4車線化の促進については、幹線道路ネットワークの形成に向けて重要であると考えており、これまでも県知事及び県議会へ要望書を提出してきたところで、今後も引き続き、県知事及び県議会に要望してまいります。

校区名	川添校区	新規・ 継続	担当課	河川・みなと振興課
件名	宮谷川の改修工事の早期完成、大谷川の雨水排水ポンプ場の設置について(※)			
内容	<p>平成29年の台風18号では、金谷交差点の道路冠水や宮谷地区の床上浸水など大きな被害が生じ、あわや人命にかかわる重大な災害になるところであり、今年も台風14号により、金谷交差点が道路冠水し、避難する住民の妨げになるなどの影響を及ぼした。</p> <p>また、近年の線状降水帯の影響は想定を超えるものがあり、一昨年7月には、県内で河川の氾濫が発生した状況もあり、このような住民不安や地域事情をご推察いただき、宮谷川の改修工事並びに大谷川の遊水地整備の早期完成を国に強く要望していただきたい。</p> <p>さらに、ポンプ場設置に関する基準の見直しも国等へ強く働きかけ、早期に設置するなど浸水対策を講じていただきたい。</p>			
<p>【R4回答】</p> <p>宮谷川流域では、平成24年度から河川改修事業に着手し、河道拡幅・堤防整備等を進めており、現在、県道より上流を施工中であり、大谷川流域では、令和4年度に大谷川遊水池が完成予定である。大野川流域では、令和3年度に大野川の種具地区の樹木伐採、宮河内地区の河道掘削・樹木伐採、松岡地区と中戸次地区の河道掘削を実施した。令和4年度には、大野川宮河内地区の河道掘削、乙津川の毛井地区の河道掘削を実施する予定です。</p> <p>国に確認したところ、地元からの要望でありますポンプ場設置についての採択基準の見直しについては現段階では困難であるとのことですが、引き続き国に働き掛けます。</p> <p>また、川添・宮河内地区につきましては、浸水対策事業として、現在、県が進めている「宮谷川改修事業」や「大谷川下流部の遊水地整備」の早期完成を目指すよう、県に強く働き掛けます。</p>				